

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		セミコンテクノパーク周辺緑地維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施策	9	住環境の充実			所属課	商工振興課	担当者名	衛藤 剛
	基本事業	27	みどりの景観の保全			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款7	項1	目3	事業連番10203	法令根拠	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	セミコンテクノパーク(工業団地)の市所有外周緑地の除草作業を年2回合志市シルバー人材センターに委託して実施し、緑地の維持・管理に努めている。熊本県から当該周辺緑地の譲与を受けたため。熊本県緊急地域雇用創出特別基金事業補助金を活用し、維持管理を行っていたが、平成17年度より廃止となり、一般財源のみで行わなければならなくなった。その後、リーマンショックや景気悪化の増大に伴い緊急雇用創出事業補助金制度が平成20年度に創設され、22年度までは継続して制度を利用していたが、平成23年度からは一般財源にて維持管理を行っている。 平成27年度からは「企業等活動支援整備事業」に統合し、本事務事業の内容を実施する。
【業務の流れ】	除草委託の見積徴収・・・委託契約・・・完了検査・・・支払い
【主な予算費目】	歳出・・・委託料 ※ 歳入分として「九州電力㈱よりセミコンテクノパーク内鉄塔用地賃借料」
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特に寄せられていない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)		
4.9haを2回に分けて除草作業	平成27年度からは「企業等活動支援整備事業」に統合し、本事務事業の内容を実施する。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 除草面積(ha)	ha	平成27年度からは「企業等活動支援整備事業」に統合し、本事務事業の内容を実施することによる減。	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)		(単位)
セミコンテクノパーク周辺緑地(合志市内区域)	→ ア 緑地面積	ha	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)		(単位)
緑地を整備し、景観維持ができる	→ ア 景観維持ができている緑地面積	ha	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 セミコンテクノパーク周辺緑地の面積による。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア									
	イ	ha	4.9	4.9	4.9	4.9	0	0	0	0
②対象指標	ア	ha	4.9	4.9	4.9	4.9	0	0	0	0
	イ									
③成果指標	ア	ha	4.9	4.9	4.9	4.9	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		627	727	934			
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	1,869	1,362	1,336	1,109			
		(A)のうち指定経費	千円	1,869	1,989	2,063	2,043	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	4	4	0	0	0
		延べ業務時間	時間	82	80	80	82	0	0	0
(B)人件費計		千円	333	318	318	326	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,202	2,307	2,381	2,369	0	0	0	

事務事業名	セミコンテクノパーク周辺緑地維持管理事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 緑地面積が増えない限り原状どおり達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在、年に2回の草刈に加えてセミコンテクノパーク協議会活動の中で、除草作業を含めたクリーンキャンペーンの実施・誘導を呼びかけ回数の増加を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成27年度からは「企業等活動支援整備事業」に統合し、本事務事業の内容を実施する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 除草作業面積に対する最低限の作業員の数で積算しており、これ以上削減できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他の公園との一括委託であれば、業務時間の削減余地はある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公園として位置づけてあるので、不特定多数の人が使用するため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市有財産であるため、市が管理することは適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

緑地の管理を行い、景観・防犯面の向上が図られた。降雨や日照の関係で急激に雑草が繁茂する時期があるため、現地調査等を行い、委託先との緊密な調整が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成27年度からは「企業等活動支援整備事業」に統合し、本事務事業の内容を実施する。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					